

目次

表紙の写真

内径800mmを超える下水道管路の清掃では、作業員が管路内に入り人力で行います。下水道管路内での清掃作業は劣悪な作業環境で、さらに酸欠や有害ガスの発生、上流域の豪雨による急激な水位の上昇など多くの危険が内在しています。

写真はグラウンド・スウィーパーによる下水道管内清掃の状況です。これにより下水道管路内に作業員を配置することなく、地上でテレビカメラの映像を確認しながら、堆積物の粉碎、吸引、移動を安全かつ効率的に行え、さらに清掃作業員の負担軽減と安全を確保することができます。



管清工業(株)

3	●令和8年 年頭のご挨拶	(一社)日本非開削技術協会会長 森田 弘昭
5	●写真速報 深田研 一般公開 2025 / No-Dig Vancouver ISTT総会・発表会・展示会 / 2025 広島水道展 / SIBE2025 / ICPTT2025 / 「管路更生大学」公開デモ施工を開催 / 第36回非開削技術研究発表会 (2025年) / インドネシア版推進工法基準案を手交	
9	●特集 / 防災・減災	
	●特集のねらい	オリジナル設計(株)(機関誌編集委員) 築山 知子
	●国・自治体の取組	
10	・総論 第1次国土強靱化実施中期計画における上下水道分野の取組の推進について	国土交通省大臣官房参事官(上下水道技術)付課長補佐 川島 弘靖
14	・総論 熊本地震の教訓を活かした災害対策	熊本市上下水道局計画整備部計画調整課課長 福田 政昭
	●能登半島地震の対応	
18	・総論 能登地震における下水道管路の被害分析と考察	㈱鴻池組土木部部長 (前(公社)日本下水道管路管理業協会常務理事) 井坂 昌博
23	・令和6年能登半島地震で被災した国道8号斜面崩壊への対応	応用地質㈱技術本部技師長 大曾根啓介
27	・能登半島地震における管路復旧対応について	管清工業㈱本社生産技術部生産技術課(機関誌編集委員) 田中 宏治
	●ライフラインの耐震技術	
29	・電力地中送電設備の耐震設計の現状	東京電力パワーグリッド㈱工務部スペシャリスト(都市トンネル) 吉本 正浩
33	・都市ガス供給システムの地震防災対策と非開削工法の役割	東邦ガスネットワーク㈱企画部テクニカルフェロー 北野 哲司
40	・通信用地下管路の耐震技術の変遷	NTT㈱アクセスサービスシステム研究所シビルシステムプロジェクト主任研究員 伊藤 陽
44	・下水道施設の耐震対策指針と解説2025年版改定	(公社)日本下水道協会技術部技術課・係長 水井 朋之 〃 酒井 友弘 〃 溝上 聖章
	●防災・減災技術	
48	・地下水位低下工法による防災技術 液状化対策をリードするレジェンドパイプ工法	レジェンドパイプ工法協会事務局長 鈴木 章弘
54	・マンホール浮上防止工法 WIDEセフティパイプ工法	WIDEセフティパイプ工法協会技術委員 中村 勝則
58	・マンホールトイレ整備の喫緊の課題と総合的ソリューション	日之出水道機器㈱ライフラインプロダクト事業部第2ライフラインマーケティンググループマーケティングチーム 上原 将成
	●談話室	
62	・即興音楽の世界	アイレック技建㈱非開削推進事業本部営業部(西) 濱崎 貴生
	●学生記者シリーズ	
64	・第5回 旧三河島汚水処分場 見学会	日本大学生産工学部環境安全工学科 島貫 巧海 日本大学大学院生産工学研究科土木工学専攻 戸田 祐希 日本大学大学院生産工学研究科土木工学専攻 小田部 匠
	●国内イベント報告	
66	・下水道管路管理技術施工展2025三重開催	(公社)日本下水道管路管理業協会常務理事 北村 隆光
70	・公益財団法人深田地質研究所「深田研一般公開2025」参加報告	機関誌編集室
72	・2025広島水道展 出展レポート	機関誌編集室 / 事務局取りまとめ
82	・海底ケーブル陸揚げの非開削技術にマリンシャトル工法を新たに開発	機関誌編集室
83	・「管路更生大学」公開デモ施工見学報告	機関誌編集室
	●海外イベント報告	
84	・第41回No-Digバンクーバー2025国際会議・展示会の参加報告	(一社)日本非開削技術協会国際部長 平野 美礼
	●知って得するシリーズ バスのあれこれ	
92	・第17編 楽しいバスまつり	川崎地質㈱大谷石採取場跡地観測所 大村 猛
100	●UP DATE	
104	●Back Number	
107	●委員会	
108	●編集後記	中川ヒューム管工業㈱取締役執行役員戦略推進室長(機関誌編集委員) 中川 喜夫